

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業) 一覧

○ 一般枠

番号	新規・継続	事業名	事業主体 (市町村)	事業概要	実施時期
1	継続 3	生業創出をめざすむらと都市の共生戦略-コロナ後の生活様式変革を見据えて-	針生「むらの底力」協議会	コロナ禍により地方や山村への関心が高まり再評価される中で、南会津町針生区の耕作放棄地や放置森林の価値を見直し活用することで、生活様式変革に即した生業と観光資源創出を図る。	R6.4.1~R7.3.31
2	継続 3	只見米を活用した地域活性化事業	只見米ブランド協議会	只見町産米のおいしさを町内外に発信するイベントを只見駅前広場で開催し、地域活性化及び地産地消の意識向上を図る。また、高校生や役場職員と只見町産米を活用した地域振興等に関する意見交換会を実施する。	R6.6.1~R7.2.28
3	継続 2	しもごろーカードを利用した新しい軽トラ市	下郷町商工会	人口減少や少子高齢化の進行により、町のインフラである商店街等の機能低下が課題となっている下郷町において、商工会と町が連携して実施するポイントカードシステム「しもごろーカード」を活用した軽トラ市及び加盟店ポイントラリーを開催し、商店街機能の維持及び地域活力の向上を図る。	R6.4.1~R7.2.28
4	継続 2	大学生サミット2025in南会津	森林の里応援団	人口減少・少子高齢化や交流人口の減少が課題となっている南会津地域の地域活性化を図るため、大学生と連携して、現地調査、先進地視察、ワークショップ等を通じた地域課題の掘り起こしやその解決に向けた方策を検討する。	R6.4.1~R7.3.31
5	新規	南会津の森林活用&リハビリテーションプログラム開発事業	(仮称)南会津・森林とリハビリ協議会	南会津地域が有する豊かな森林資源を活かして、森林内におけるリハビリテーションプログラムの検討・開発を行い、福祉・医療等の分野との連携による森林活用の可能性の提示および地域産業の創出を図る。	R6.4.1~R7.3.31
6	新規	里山滞在型リトリート事業	(仮称)奥会津リトリートプロジェクト	南会津地域ならではの地域資源を活用した中長期滞在型のリトリートプログラムの構築により、関係人口・交流人口・観光人口の創出や、将来的な移住・定住の促進を図る。また、滞在型プログラムの企画・体験ガイドなどについて、地域人材を登用し、活躍の場とする。	R6.4.1~R7.3.31
7	新規	自然資源を活用した地域創生事業(開墾再活性プロジェクト)	伊南青年会	南会津町伊南地域では、豊かな自然資源を活かした野外体験プログラムの提供等が行われていたが、人口流出・高齢化により継続が困難となり、プログラムのフィールドとしていた拠点の環境も悪化している。当地域で生まれ育った青年層が主体となって改めて環境整備や体験プログラムの造成を行い、関係・交流人口の増加および自然資源の保全・継承を図る。	R6.4.1~R7.3.31
8	新規	会津高原スキー場誘客応援事業	(仮称)JSBA全日本スノーボード選手権大会実行委員会	令和7年3月にたかつえスキー場・南郷スキー場で開催される「全日本スノーボード選手権大会」に合わせ、郷土芸能・年中行事の披露等による歓迎レセプションを実施し、地域のイメージ向上を図る。また、道の駅等に宿泊施設に関するパンフレットを設置するなどして、地域宿泊部門の活性化を図る。	R6.10.1~R7.3.31

○ 市町村枠

番号	新規・継続	事業名	事業主体	事業概要	実施時期
1	継続 3	八十里越交流事業	南会津町	都市間交流や商工業・観光業の衰退が課題となっている南会津町において、令和8年開通予定の国道289号「八十里越道路」をテーマとした新潟県三条市との交流事業を展開し、交流の発展や事業者間の連携強化を図る。	R6.4.1~R7.2.28

2	継続 2	「自然首都・只見」モンベルと連携したエコツーリズム推進事業	只見町	只見町では「自然首都・只見」を宣言し、豊かな自然を軸とした誘客促進を目指しているが、自然を活かしたアクティビティのガイド不足や高齢化が課題となっている。そこで、町と包括連携協定を結ぶ(株)モンベルとの連携のもと、町内のガイド養成及び資格取得のサポートを行い、秋頃に只見町アウトドアモニターツアーを実施する。	R6.4.1～R7.3.31
3	継続 2	チームビルディングツアーリズム事業	南会津町	震災や新型コロナウイルスの影響により観光客が減少している南会津町において、新たな施策として地域資源を活用した「企業研修」を誘致することで、交流・関係人口の創出を図る。また、将来的には企業研修に参加した企業と町内事業者の新たな繋がりから、販路拡大や共同事業の開発等も視野に入れる。	R6.4.1～R7.3.31
4	新規	ここに住んでよかった・住んでみたいと思えるまちづくり事業	下郷町	人口減少や生活スタイルの変化等で、人々のつながりや地域愛が希薄化しているほか、移住希望者は、第一に下郷町を知らない、生活がイメージできない課題がある。下郷町の魅力を体感でき、住民と移住希望者が交流できる場を創出し、地域への愛着を育むことで、下郷町に住み続けたいという住民の意識を醸成し、また移住後の生活をイメージしやすくし、移住促進を図るほか、「人財」の掘り起こしに繋げる。	R6.7.1～R7.3.31
5	新規	ビギナー戦略推進事業	檜枝岐村	尾瀬国立公園の入山者数は3年連続で増加しているが過去4番目の低さであり、入山者の高齢化も一因。環境省が策定した「尾瀬ファンベース戦略」の方針に沿いながら、特にビギナー戦略に重点を置いてPR・受入体制整備の2軸で施策を展開し、村の主幹産業である観光業の維持に努める。	R6.4.1～R7.3.31

○ 過疎・中山間地域活性化枠「集落等活性化事業」

番号	新規・継続	事業名	事業主体 (市町村)	事業概要	実施時期
1	継続 2	みんなで心豊かに、安心して住み続けられる集落(むら)づくり事業	布沢区	人口減少と地域経済の衰退が課題になっている布沢区において、地域資源を活かした生業おこしを図るため、「布沢資源加工所」及び地区産農産物等を活用した「ふざわ食堂」の運営及び施設の充実を行う。また、二地域居住者・移住人口の増加を図るため、山村の暮らしを体験できる施設の運営を行う。	R6.4.1～R7.3.31

○ 過疎・中山間地域活性化枠「収益事業(スタートアップ支援事業)」

番号	新規・継続	事業名	事業主体 (市町村)	事業概要	備考
1	継続 2	ヒツジ等で里山づくり&地域活性化事業	只見里山づくり協議会	只見町はR4.10.1に全線で運転を再開したJR只見線の沿線地域であり、観光誘客の促進が期待されているが、沿線には耕作放棄地が広がり、景観を損なっている。そこで、ヒツジによる景観整備を実施するとともに、小学校と連携した動物とのふれあい事業を実施し、児童の動物愛護精神の醸成に寄与する。	R6.4.1～R7.3.31
1	新規	体験型交流カフェ民泊で関係人口拡大&地域活性化事業	三瓶 彰治 ひよこ屋(屋号)	JR只見線の沿線地帯かつ、今後国道289号八十里越道路が開通する場所であり交通量の増加が期待されているが、空き家の増加や観光客の拠点となる施設がないという課題がある只見町叶津地区において、空き家を活用し体験交流施設等として再生することで、交流人口の拡大や観光客の滞在時間を伸ばし、地域活性化を図る。	R6.4.3～R7.3.31